

皆がHAPPYに。男女協働推進センターの挑戦

～女性も、男性も、働きやすい職場をめざして～



男女協働推進センターのメンバー

平成28年4月1日付けで設立された「大阪大学男女協働推進センター」。その目的や役割、今後の取組について工藤由美理事・副学長（男女協働推進・社会学連携担当）に伺いました。

性別、人種をこえて 能力を発揮できる大学に

先日、ある企業の方からダイバーシティの取組を聞く機会があり、「早くなくそう。男女共同参画」というスローガンを掲げ

ていると伺いました。「うまいこと言うな。」と。それを謳うということは、それがまだできていない。不十分ということの表れだから。

大阪大学は、学部生数は国立の総合大学で最多で、女子学生数も最多です。これまでも男女協働の取組、例えば学内保育園を整備したり、学修、研究、就業と家庭生活の両立ができるよう環境整備を進めてきましたが、まだまだ課題が山積しています。さらに前進させるべく、この4月1日に「大阪大学男女

協働推進宣言」を公表し、「大阪大学男女協働推進センター」を立ち上げました。

全学の協力あってこそそのセンター

昨年、西尾総長の就任と同時に「男女共同参画・社会学連携」ができて、OUビジョンで謳ったように中長期で男女協働を進めるための展望を立てることができました。この4月からは、その計画を実現していく部署としてセンターを設立しました。

役割としては、大まかにはPDCAで言うと、PlanとCheckの部分を室が担当し、DoとActionをセンターが担います。室がたてた計画を実行していくのがセンターです。

センターには全部局から兼任教員として参画いただき、また専門家としても元厚生労働事務次官の村木厚子氏にも招へい教授として着任いただいて、男女協働の取組を強力に推進していこうとしています。

あらゆる両立支援を

センターでは学生・教員・職員がどのようなライフステージにあっても、その能力を存分に発揮できるよう支援を行います。特に子育て支援では、以前からの学内保育園運営に加え、昨年度、病児・病後児の保育施設「あおぞら」を設置し、3月には一時預かり保育室を豊中と箕面キャンパスに開設しました。さらに学童保育も試行で始めています。

また、女性のキャリアアップのためのプロジェクトを企業の方と進めたりと、色々な支援事業に取り組んでいきます。

女性が働きやすい ＝男性も働きやすい

最も重要だと考えているのが、働き方改革です。家庭生活との両立支援のためには、仕事を時間で評価する等の意識を改めていかなければなりません。また、女性自身の意識改革も必要ですね。

どんなに制度を充実させたとしても、みなさんの働き方に対する意識が変わらなければ、何も変わりません。女性が働きやすい

職場というのは、もちろん男性も働きやすい職場なのです。仕事も家庭生活も充実した環境で働いてもらいたい。そのための手助けをセンターが中心になり、大阪大学構成員のワークライフバランスを実現したいですね。

最後に、男女協働というのは、ダイバーシティある職場への通過点にすぎません。

大阪大学には多様な人がいます。男女の差無く、働きやすい職場にしたい。性別や国籍、障がいや性的指向等に関わらず、どんな人も個性を尊重され、働きやすい職場にしていきたいために、センターはがんばっていきます。

ご協力、ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。



工藤理事

大阪大学 男女協働推進センター：
男女共同参画に関する事業を効果的かつ円滑に推進し、構成員がその能力と個性を最大限に発揮できる魅力ある就業環境の実現を図ることを目的に、様々な取り組みを進めています。2016.4.1設置。

●大阪大学 男女協働推進センター
ホームページ
<http://www.danjo.osaka-u.ac.jp/>



一時預かり保育室での学童保育(試行)の様子@豊中



病後・病後児保育室「あおぞら」



あれこれ施設整備しています▶



多目的トイレにおむつ替えシート・ベビーチェアを設置